

福島第一原子力発電所 増設多核種除去設備における漏えい警報発生について

< 参 考 資 料 >
2 0 1 8 年 1 2 月 2 0 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

12月20日午前11時44分頃、増設多核種除去設備において、漏えい検知器が動作したことを示す警報「多核種吸着塔（A）スキッド2漏えい」が発生しました。

その後、当社社員が現場を確認したところ、当該設備（A）の吸着塔3Aの点検口付近から漏えい（漏えい範囲：約1.5m×4m×1mm）していることを確認しました。

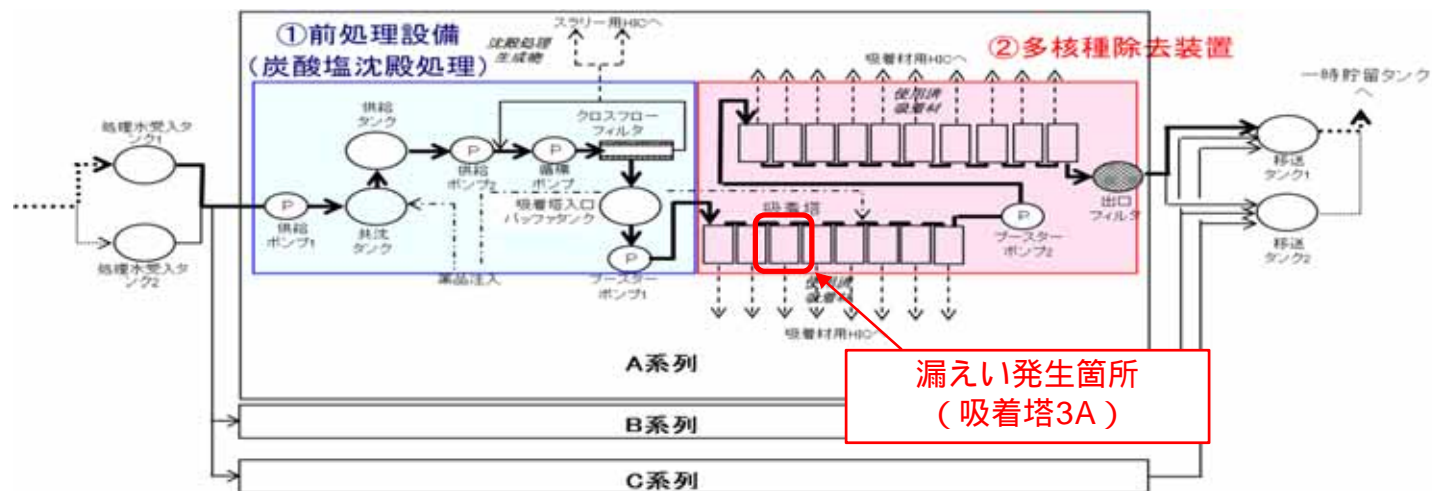
点検口のボルトを増し締めしたことにより、午後0時23分に漏えいは停止しました。

漏えいした水は堰内に留まっており、外部への影響がないことを確認しています。



吸着塔3Aの点検口（漏えい箇所）

【系統図】



漏えい検出器の溜め升の様子